

大口径単焦点 L レンズ「RF24mm F1.4 L VCM」と「RF50mm F1.4 L VCM」を発売 開放 F 値 1.4 の単焦点 L レンズシリーズを拡充し静止画・動画の表現領域を拡大

キヤノンは、「EOS R システム」の交換レンズ「RF レンズ」の新製品として、画面全域での高画質に加え、開放 F 値 1.4 による大きく美しいボケ味を実現する大口径単焦点 L レンズ「RF24mm F1.4 L VCM」と「RF50mm F1.4 L VCM」を 2024 年 12 月下旬に発売します。



RF24mm F1.4 L VCM/
RF50mm F1.4 L VCM



広角とボケ味を生かした豊かな表現が可能
（「RF24mm F1.4 L VCM」使用時）



自然な画角で被写体を際立たせた撮影が可能
（「RF50mm F1.4 L VCM」使用時）

「RF24mm F1.4 L VCM」は、焦点距離 24mm の広角撮影と開放 F 値 1.4 を組み合わせることでダイナミックな遠近感と豊かなボケ表現が可能です。また、「RF50mm F1.4 L VCM」は人間の視野に近い自然な画角で、ポートレートやスナップなど、幅広いシーンで被写体を際立たせた撮影を実現します。昨今の高性能で機動性に優れた撮影機材のニーズの高まりに対し、「RF35mm F1.4 L VCM」（2024 年 7 月発売）に続き、静止画撮影はもちろん、本格的な映像制作にも貢献する開放 F 値 1.4 の単焦点レンズシリーズを拡充することで、ユーザーの幅広いニーズに応えます。

■ 開放 F 値 1.4 を生かした大きく美しいボケ味と画面全域での高画質を実現

開放 F 値 1.4 による大きく美しいボケ味を生かし、被写体を際立たせた表現が可能です。夜間や室内などの暗いシーンにおいても、感度を上げずに撮影できるため、ノイズの少ないクリアな静止画・動画撮影を実現します。また、「非球面レンズ」や「UD レンズ^{※1}」を効果的に配置した光学設計や、特殊コーティング技術「ASC（Air Sphere Coating）」、「SWC（Subwavelength Structure Coating）」の採用により、画質劣化の原因となる諸収差とフレア・ゴーストを低減し、画面全域で高画質を達成しています。

■ VCM^{※2}とナノ USM を組み合わせた「電子式フローティングフォーカス制御」の採用による快適な撮影

質量の大きいフォーカスレンズユニットの駆動に適した「VCM（ボイスコイルモーター）」と「ナノ USM（超音波モーター）」を組み合わせた「電子式フローティングフォーカス制御」により、優れたフォーカシングを実現します。EOS R シリーズのデュアルピクセル CMOS AF とのコンビネーションにより、高速・高精度な AF に加え、動画撮影時には静かで滑らかなピント合わせが可能です。また、動画撮影時のフォーカス操作に伴い画角変動が生じる「フォーカスブリージング」を徹底的に抑制する優れた光学設計により、画角変化の少ない安定した構図での動画撮影を実現します。

■ 機動性に優れた小型・軽量設計とアイリスリング搭載などの高い操作性

「RF24mm F1.4 L VCM」は質量約 515 g、「RF50mm F1.4 L VCM」は質量約 580 g、全長はいずれも約 99.3mm の小型・軽量設計を実現し、優れた機動性を発揮します。また、「RF24-105mm F2.8 L IS USM Z」（2023 年 12 月発売）や「RF35mm F1.4 L VCM」と同様にアイリスリング（絞りリング）を搭載し、主に動画撮影中の絞りのマニュアルコントロールが可能です。

※1. UD（Ultra low Dispersion=特殊低分散）ガラスを用いたレンズ。

※2. 磁石のエネルギー（磁場）を媒体として、電気エネルギーを運動エネルギーに変換するアクチュエーター。駆動用マグネットが作る磁場の中をコイルが前後に動き、コイルが固定されたフォーカスレンズユニットをリア駆動します。

製品名	価格	発売日
RF24mm F1.4 L VCM	オープン価格	2024 年 12 月下旬
RF50mm F1.4 L VCM	オープン価格	2024 年 12 月下旬

● 一般の方のお問合せ先 : キヤノンお客様相談センター 0570-08-0002

〈“RF24mm F1.4 L VCM”／“RF50mm F1.4 L VCM”の特長〉

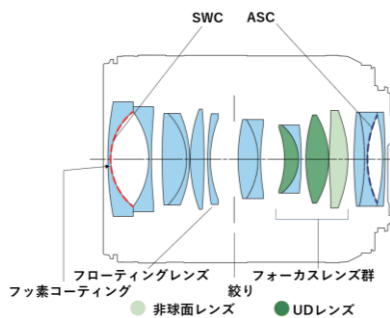
1) 開放 F 値 1.4 を生かした大きく美しいボケ味と画面全域での高画質を実現

- 開放 F 値 1.4 による大きく美しいボケ味を生かし、被写体を際立たせた表現が可能。
- 夜間や室内などの暗いシーンにおいても、感度を上げずに撮影できるため、ノイズの少ないクリアな静止画・動画撮影を実現。
- “RF24mm F1.4 L VCM”はリアフィルターホルダー※1を同梱。撮像面により近いリア側にフィルターを装着することにより、点光源のひずみを抑えた撮影が可能。広角を生かした星空撮影に最適。
- “RF24mm F1.4 L VCM”は「非球面レンズ」1 枚、「UD レンズ」2 枚を効果的に配置した 11 群 15 枚、“RF50mm F1.4 L VCM”は、「非球面レンズ」2 枚、「UD レンズ」1 枚を効果的に配置した 11 群 14 枚の光学設計により、画質劣化の原因となる諸収差とフレア・ゴーストを低減し、画面全域で高画質を達成。
- マルチコーティングに加え、適所に特殊コーティング「ASC（Air Sphere Coating）」や「SWC（Subwavelength Structure Coating）」をレンズ面に採用することで、レンズ内の光の反射が撮影画像に入り込んでしまうフレア・ゴーストの発生を低減。
- 11 枚の絞り羽根の採用により、なめらかな円形の美しいボケや絞り込んだ際の美しい光芒を実現。

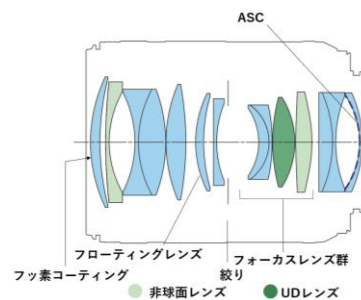


画面全域での高画質を実現
（“RF24mm F1.4 L VCM”使用時）

※1. “RF24mm F1.4 L VCM”のみ搭載。フィルターは厚さ 0.2mm 以下のものを 1 枚のみ使用できます。リアフィルターを使わない時は、光の条件によってゴーストの発生の原因となるためホルダーを外してください。



“RF24mm F1.4 L VCM”の光学構成図



“RF50mm F1.4 L VCM”の光学構成図

2) VCM とナノ USM を組み合わせた「電子式フローティングフォーカス制御」の採用による快適な撮影

- 質量の大きいフォーカスレンズユニットの駆動に適した「VCM（ボイスコイルモーター）」と「ナノ USM（超音波モーター）」を組み合わせた「電子式フローティングフォーカス制御」により、優れたフォーカシングを実現。
- EOS R シリーズのデュアルピクセル CMOS AF とのコンビネーションにより、高速・高精度な AF に加え、動画撮影時には静かで滑らかなピント合わせが可能。
- 動画撮影時のフォーカス操作に伴い画角変動が生じる「フォーカスブリージング」を徹底的に抑制する優れた光学設計により、画角変化の少ない安定した構図での動画撮影を実現。



「VCM（ボイスコイルモーター）」と「ナノ USM（超音波モーター）」を組み合わせた「電子式フローティングフォーカス制御」により優れたフォーカスを実現
（画像は「RF35mm F1.4 L VCM」のイメージ）

3) 機動性に優れた小型・軽量設計とアイリスリング搭載などの高い操作性

- “RF24mm F1.4 L VCM”は質量約 515 g、“RF50mm F1.4 L VCM”は質量約 580 g、全長はいずれも約 99.3mmの小型・軽量設計を実現し、優れた機動性を発揮。
- 「RF24-105mm F2.8 L IS USM Z」や「RF35mm F1.4 L VCM」と同様にアイリスリングを搭載し、主に動画撮影中の絞りのマニュアルコントロールが可能。
- 左手で操作しやすい「レンズファンクションボタン」を搭載し、AF 設定など割り当てた機能に切り替えることが可能。また、露出補正や絞り数値の設定などを任意に割り当てて使うことができる「コントロールリング」を搭載し、直感的で快適な撮影を実現。
- “RF24mm F1.4 L VCM”、“RF50mm F1.4 L VCM”は、「RF35mm F1.4 L VCM」と共通の外装とし、いずれも小型・軽量設計を実現。67mm 径のフロントフィルターを共通で使用できることに加え、ジンバルを使った動画撮影において、レンズ交換時の調整が少なくて済むなど、撮影現場での使い勝手の良さを実現。



小型・軽量設計と共通の外装により優れた機動力と使い勝手の良さを実現



主に動画撮影時、直感的な露出のコントロールが可能なアイリスリングを搭載

4) 防じん・防滴性能など高い信頼性を確保

- L レンズならではの耐久性・堅牢性を実現。マウント接合部、スイッチ、フォーカスリングなどに防じん・防滴構造を採用。^{※1}
- レンズ最前面に油や水滴が付着しにくいフッ素コーティングを採用。レンズに付着した油分なども溶剤を使わずに乾いた布などで簡単に取り除くことが可能。

※1. 防じん・防滴に配慮した構造になっていますが、水滴やほこりの浸入を完全に防ぐものではありません。

〈製品仕様について〉

製品仕様の詳細はキヤノンホームページをご参照ください。

“RF24mm F1.4 L VCM”：<https://personal.canon.jp/product/camera/rf/rf24-f14lv>

“RF50mm F1.4 L VCM”：<https://personal.canon.jp/product/camera/rf/rf50-f14lv>

〈ご参考〉

「RF35mm F1.4 L VCM」に続き、“RF24mm F1.4 L VCM”、“RF50mm F1.4 L VCM”を投入し、開放 F 値 1.4 の単焦点レンズシリーズがさらに充実しました。シリーズとして、サイズや操作性の統一と優れた描写性能を実現することで、快適な撮影が可能です。今後も静止画撮影はもちろん、本格的な映像制作にも貢献するレンズを拡充することで、ユーザーの幅広いニーズに応えていきます。



防じん・防滴構造採用箇所
※「RF24mm F1.4 L VCM」のイメージです。



開放 F 値 1.4 の単焦点 L レンズシリーズが拡充